（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートはうすAndante			
○保護者評価実施期間	R8年　3月　1日	～	R9年　3月　1日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	27	（回答者数）	21
○従業者評価実施期間	R8年　3月　1日	～	R9年　3月　1日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年　2月　24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう担当制にして工夫している。	担当制とすることで、固定化しないようプログラムを設けられる。また、職員同士で話し合い、プログラムも立てている。 取り組んだプリントなどを個別に整理して管理することで、次に取り組む内容が明確になっている。	担当制は継続して、こどものニーズも取り入れていきたい。
2	屋外活動や屋外へ出る機会を増やし、社会ルールなどを覚える機会を設けている。	公共機関での過ごし方（美術館、図書館、電車、バス等）や商業施設（スーパー等）へ行き社会ルールの勉強をする機会を提供をしている。	公共機関の利用頻度を高めたり、学習する機会を設ける。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	こどもが一目で分かる表示をしていたり、掲示板で分かりやすく情報伝達している。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等がない。	家族支援に対して、取り組みが浅い。	家族支援プログラムを取り入れることを検討する必要有。
2	父母の会の活動や保護者同士の交流の機会がない。	保護者参加の活動や行事を取り入れていなかった。	保護者参加のイベントを開催したり、地域のイベントへ参加することで交流の機会を増やしていきたい。
3			